

用語解説

○大気測定

かんきょうきじゆん 環境基準

環境基本法は「環境基準とは、大気汚染、水質の汚濁、土壌の汚染及び騒音に係る環境上の条件についてそれぞれの人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準」と定義している。

ちっそさんかぶつ 窒素酸化物（ NO_x ）

物の燃焼の際、空気中に含まれる窒素と酸素から発生する。高温になる程その発生量は多くなる。また燃料の成分中の窒素分も燃焼の際、窒素酸化物となる。エネルギーの消費に伴い年々環境濃度は高まっており、その主な発生源は大工場と自動車である。

窒素酸化物の代表的なものは一酸化窒素（ NO ）と二酸化窒素（ NO_2 ）。

いっさんかちっそ 一酸化窒素（ NO ）

酸化窒素ともいい、無色の気体で液化しにくく空気よりもやや重く、空気又は酸素に触れると酸化されて赤褐色の二酸化窒素（ NO_2 ）に変わる。

にさんかちっそ 二酸化窒素（ NO_2 ）

一酸化窒素（ NO ）とその2分の1体積の酸素との作用、あるいは硝酸鉛又は硝酸銅の個体を熱すると発生する。赤褐色、刺激性ガスとして最も特色がある。水に溶解しにくい。

ぴーぴーえむ ppm

100万分の1をいい、濃度を示す単位として使用されている。

1 ppm = 0.0001%

ふゆうりゅうじょうぶつしつ 浮遊粒子状物質（SPM）

浮遊粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状の物質のうち、粒形が $10\mu\text{m}$ （マイクロメートル）以下の微細な粒子のことを指す。 $1\mu\text{m} = 0.001\text{mm}$

○河川水質測定

すいしつおだく 水質汚濁に係る環境基準 かんきょうきじゅん

水質保全行政の目標として、公共用水域の水質について達成し維持するのが望ましい基準を定めたもので、生活環境の保全に関する環境基準（生活環境項目）と人の健康の保護に関する環境基準（健康項目）の2つからなっている。

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| <small>せいかつかんきょうこうもく</small> | |
| ・生活環境項目 | 水素イオン濃度(pH)など9項目を調査 |
| <small>けんこうこうもく</small> | |
| ・健康項目 | カドミウム、全シアンなど27項目を調査 |

すいきるいけい 水域類型

水質汚濁に係る環境基準のうち、生活環境の基準については、河川、湖沼、海域別に利水目的に応じた水域を区切ってA A、A、B、C、D、Eの6つの推計を設けている。

水素イオン濃度(pH)、生物化学的酸素要求量(BOD)等の項目について、それぞれの水域類型ごとに環境基準を定めている。

すいそ 水素イオン濃度 (pH) のうど

水の酸性、アルカリ性の程度を図る物差しである。pH 7が中性、これより大きくなるとアルカリ性が強くなり、小さくなると酸性が強くなる。

河川水は弱アルカリ性（7.0～8.0）を示すことが多い。

せいぶつかかくてきさんそようきゅうりょう 生物化学的酸素要求量 (BOD)

水が、どの程度汚れているかを示す指標となり、その数値が高いと有機物による水の汚染が進んでいることを示しめしており、水中の汚染物質(有機物等)が微生物などによって分解されるときに消費される酸素量で示される。

この値が高ければ、その水中には腐敗性物質が多いことを意味し、溶存酸素を以上に消費して、魚介類に影響をおよぼすなど、危害の原因となる。

かがくてきさんそようきゅうりょう 化学的酸素要求量 (COD)

海中や河川の汚れの度合いを示す数値である。水中の有機物など、汚染源となる物質を酸化するとき消費される酸素量mg/lで示したものであり、数値が高いほど水中の汚染物質の多いということを示している。

ふゆうぶっしつりょう

浮遊物質 量 (SS)

粒径 2 mm 以下の水に溶けない懸濁性の物質をいう。水の濁りの原因となるもので魚類のエラをふさいでへい死させたり、日光の透過を妨げたりするなど水生植物の光合成作用を妨害する等の有害作用がある。

河川に汚泥床を形成したり、浮遊物質が有機物である場合には腐敗して水中の溶存酸素を消費する。

だいちょうきんすう

大腸菌数

大腸菌の存在は、し尿、生活排水等の影響が憶測される。その値は、汚染の程度を示す一指標である。

漁獲物に病原菌が付着することにより衛生上の問題があり、下水の影響を受けやすいカキ、アカガイなどの貝類はしばしば問題となる。

ぜんちっそ

全窒素

水の富栄養化成分として極めて重要な項目で、これが高い値を示すと、アオコ等の藻類が異常繁殖し、赤潮の発生など水質悪化の原因となる。

ぜんりん

全磷

全窒素と同様に、水の富栄養化成分として極めて重要な項目で、これが高い値を示すと、アオコ等の藻類が異常繁殖し、赤潮の発生など水質悪化の原因となる。

いん

かいめんかつせいざい

陰イオン界面活性剤

家庭や工場で使用している洗剤の主成分のことで、水中に溶け込んだ合成洗剤の量。洗濯排水等が混入していることを示す。

とうしど

透視度

水の濁りや着色の度合いを知る方法。透視度計の底部に置いた標識板の二重十字が明らかに認識できるときの水槽の高さ (cm) を度で示す。